



ふくおかの
まち、ひと、花・みどりが
ひとつにつながります。



受賞作品 詳しくはP15~16をご覧ください。



第20回

花と緑のまちかど写真コンテスト受賞作品

- **みんなの花壇** でまちを美しく元気に。
パナソニック×博多区役所×地域×環境演出家協会
「フラワーアップ みのしま」
- **一人一花サミット** レポート
- **水は、緑の森から生まれます。**
緑のコーディネーター紹介 大田 宏志 さん
- **巨大ウォールアートと海風に見守られたなが〜い花壇**
屋内型体験施設「ノボルト (NOBOLT)」
- **ここを通るのが楽しみに！
全長 320mの街路花壇を
四季折々の花で彩っています。**
レークヒルズ野多目 花の会
- **花壇を通して地域コミュニティが深まり
もっと美しい街へ** JR 福工大前駅ロータリー



パナソニック × 博多区役所 × 地域 × 環境演出家協会

「フラワーアップ みのしま」

“みんなの花壇”でまちを美しく 元気に。



企業花壇ではなく 地域で育てる花壇を

春、博多区美野島的那珂川沿いに連なる並木の桜が見ごろを迎えます。空の青と桜のピンクを仰ぎながら歩くのは、実に気持ちのよいものです。

足元に目を向ければもうひとつ、目を楽ませてもらえるのが、パナソニック福岡事業場前のおもてなし花壇。チューリップ、サクラソウ、アリッサム、パンジー、ビオラなどの春の花々が色鮮やかに咲き競っています。この花壇は、昨年12月にパナソニックの社員のほか、福岡市役所、博多区役所、環境演出家協会、美野島町内会関係者、近隣のとっと保育園、ひじり保育園の児童を含め、総勢77名で植えたものです。

およそ100㎡のこの花壇は、少し前まで放置され、雑草が伸び放題だったといいます。なんとかしようと立ち上がったのがパナソニック(株)の前田智明さん。

「弊社では毎月1回、美野島地区の清掃活動を行っているのですが、雑草だらけの花壇に空き缶や空き瓶、雑誌、タバコの吸い殻などのゴミが大量に投げ込まれていて、取り除いても取り除いても、すぐにゴミだらけになってしまう。これをなんとかしたいというのがきっかけでした。雑草ではなく、きれいな花でいっぱいの花壇にすることで、ゴミの投げ入れをなくしたい。ただし、企業花壇

として管理をよそに委託するのではなく、ボランティア活動として取り組み、地域の方々と共に花壇を育てていきたいという思いもありました」

パナソニック株式会社
前田智明さん



60余年のご恩返し 地域のためにできること

「といいますのも、弊社は前身である九州松下電器(株)の時代から数えると60年以上の間、ここ美野島にお世話になってきていますから、地域のために何かできたらという気持ちもありまして」

そんな前田さんの思いは、紆余曲折を経て、福岡市住宅都市局一人一花推進課につながっていきました。そこから福岡市役所、博多区役所、木村三重子さんから環境演出家協会へ、さらには、近隣のマンションの住民のみなさんや保育園児童、美野島町内会へと、どんどん輪が広がっていったのです。

こうして「フラワーアップ みのしま」と銘打った花壇づくりの第1回植え付け作業は順調にスタート。福岡初の立体花壇も誕生し、博多区長からの花壇プレート贈呈式も華々しく行われました。

植え付け後、会社の帰りに毎日、花壇を眺めるという前田さんは「花壇ができてからは、ゴミのポイ捨てが一切なくなりました」と満面の笑み。

第2回活動日程は5月中旬予定。夏の花への植え替え作業を行います。「近くにあと2カ所残されている放置花壇にも着手したい」と意気込みを語る前田さんは、穏やかな笑顔で言葉を続けます。

「これからも地域の皆さんと一緒に花壇づくりを継続して花を育てていきたいですね。この“継続する”というのが実は難しいんですが…。ゆくゆくは、美野島地区の住民の方々が“私たちの花壇”と胸を張れるような存在として続いていくといいですね」

企業が取り組む花壇

巨大ウォールアートと 海風に見守られた なが〜い花壇

屋内型体験施設
「ノボルト(NOBOLT)」

ノボルト(NOBOLT)



巨大アートと一緒に 新施設を彩る延長約65mの花壇

マリノアシティ福岡内にオープンしたスポーツ・アスレチック×エンターテインメントを融合した国内最大級の屋内型体験施設「ノボルト(NOBOLT)」。外壁に描かれた巨大ウォールアートとともに、周辺の花壇が設置されました。この花壇は、マリノアシティ福岡の一人一花運動として、敷地内及び歩道上に新たに設置されたものです。昨年9月13日(金)に、ノボルトのオープニングセレモニーと花壇プレート贈呈式を実施しました。

細長い花壇では、花々が潮風にゆれて咲いています。ぜひお近くをお通りの際はお立ち寄りください。

マリノアシティ福岡内なので
買い物客の方も眺めていました!



自治会と企業と一緒に取り組む花壇

花壇を通して 地域コミュニティが深まり もっと美しい街へ

JR福工大前駅
ロータリー



美和台校区自治会が中心となり 総面積約120㎡の花壇に挑戦!

はじめは背の低い木が植わっていただけの、JR福工大前駅ロータリー。木の中に隠すようにゴミが投げ込まれて荒れていたのを美和台校区自治協議会が一念発起。周辺の企業や団体を巻き込んで花壇が生まれ変わりました。「福岡和白病院」、「福岡和白総合検診クリニック」、「学校法人立花学園 立花高等学校」、「つながるコミセンわじろマネジメントグループ」、「美和台校区花いっぱいにする会」、「美和台校区自治協議会」が参加。駅前なので人通りも多いですが、3回ほどの活動で、13区画の花壇が完成し、ゴミもなくなりました!

花壇はまず土作りから。
数が多いので大変!



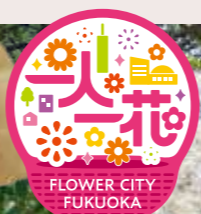
4月に芝生を入れる予定 今後はオーナー制も導入?

4月になったら、花壇の外に芝生を敷く予定です。それでひと段落。これから植え替えをしながら各団体とコミュニケーションをとって継続して世話をしていきます。周辺施設との連携も強めつつ、オーナー制を導入し、いくつもある花壇を貸し出すアイデアも考えています。興味がある方は美和台公民館までご連絡ください!

ここに芝生が植わる予定です!
変わっていくのをお楽しみに!



一人一花サミットレポート



植物園中が
楽しいイベントと
装飾で
賑わいました

2019年
10/26(土)・27(日)
福岡市植物園

2日間で17,903人とたくさんの方が ご来場くださいました。

今年も植物園で都市緑化月間の10月、市民のみなさまに花と緑に親しんでもらうためのイベント「一人一花サミット」が開催されました。福岡市と、(公財)福岡市緑のまちづくり協会、福岡市内の緑化活動団体18団体が主催するイベントです。各団体で見て、触れて花や緑を楽しむコンテンツを用意。花・緑づくりの体験ブースや園内を彩る立体的花装飾が登場。特設ステージでは、表彰式やトークセッション、オーケストラのミニコンサートなど様々な催しが行われ、会期中の2日間は無料開園日だったこともあり、たくさんのお客様にご来園いただきました。



おもてなしの立体花装飾が園内を彩りました。

会場はカラフルな色彩を放つ花やカラーリーフでより華やかに。芝生広場中央の花装飾は、「環境演出家協会」の方々、ステージ横のグリーンシャンデリアなどは、「全国鉢物類振興プロジェクト協議会」の方々のご協力のもと作られました。



トークセッションや音楽の演奏など ステージイベントも盛りだくさん。

一人一花運動に寄与頂いた、団体・企業、個人の方々を表彰する、一人一花表彰式や福岡市長と花や緑に関する有識者が集まり、「花で福岡のまちづくりを進めるために必要なこと」を議題に行った「花・緑トークセッション」。そして歌って踊る催しも!

表彰&トークセッション

福岡市長と花や緑に関する有識者の「花・緑トークセッション」。一人一花運動の今後の展開についての話なども出て、有意義な時間となりました。



ステージイベント

2日間にわたり、草笛からヒーローショー、グリップダンスにフラダンス。そして吹奏楽演奏など幅広いステージイベントが行われました。



見て、触れて、花や緑を楽しむ2日間



ステージイベント

26日(土)

- ・花・緑トークセッション
- ・草笛教室(緑のキャラバン隊)
- ・ドレミファクラブ
- ・アマミズタメルンジャーZショー(水と緑の楽校・あまみず社会研究会)
- ・グリップダンス(福岡市緑のまちづくり協会)
- ・フラダンス(吉永フラタヒチアダンス)



27日(日)

- ・上智福岡中学高等学校吹奏楽部演奏
- ・草笛教室(緑のキャラバン隊)
- ・ドレミファクラブ
- ・グリップダンス(福岡市緑のまちづくり協会)
- ・秋の感謝祭PR(西日本短期大学緑地環境学科)
- ・ミニコンサート(博多ウィンドオーケストラ)
- ・ヒップホップキッズ・アフリカダンス
- ・フラダンス(デンファーレ警固)



福岡県
樹木医会
の木登りの体験会

緑化団体のブースは大盛況!

今年の一人一花サミットは、例年出展している福岡市都市緑化推進実行委員会(18の緑化活動団体及び福岡市、緑のまちづくり協会)だけでなく、企業の出展などもあり、ますますパワーアップしたイベントとなりました。

花と緑に親しむイベントの数々

園芸福祉ふくおかネット

- ハートの編み込み香り袋づくり
- 緑の恵み園芸福祉ショップ

(一社)福岡市緑化協会

- 咲かせよう一人一花運動(クイズラリー)

(一社)福岡県樹木医会

- 樹木と遊ぶ、ツリークライミング体験教室

NPO法人緑のキャラバン隊

- エコ鉢の花植え

舞鶴公園フラワーボランティア

- 押し花で額しおりづくり
- 苗のポット上げ体験講座
- 花苗のポットに花の植え付け体験切り花
- 花の苗、ローゼルの販売

(公社)福岡県建築士会青年女性委員会

- ミニ上棟式
- 工事体験ワークショップ
- 壁面緑化

全国鉢物類振興プロジェクト協議会

- 「フラワー&グリーンマルシェ」同時開催
- 移動販売車(花苗・花鉢)(10/27のみ)

共育:フラワーアップアップスクール

- 花カフェ@植物園
- 花レッスン@植物園
- 東福岡特別支援学校販売学習(10/26のみ)

片江市民緑地グリーンメイトの会

- フラワーリース
- 寄せ植え
- 苗木の販売

(一社)ランドスケープコンサルタンツ協会九州支部

- PHOTO BOOTH(フォトブース)

水と緑の染校・あまみず社会研究会

- 缶バッチづくり
- 活動内容の展示

樋井川グリーンメイト

- 花舟づくり
- 窓辺に花を
- 学んだ 喜び 写真コーナー

福岡市植物園

- 花苗販売
- 寄せ植え体験

グッディ

- かわいい多肉植物の販売
- MINI植物ワークショップ

(一社)福岡市造園建設業協会

- 緑化基金へ募金してふかし芋を食べよう!(10/26のみ)
- どこまであがるか!?竹とんぼ(10/27のみ)
- ベトナム料理と物販

みどりちかまる

- バラとハーブのミニコンテナ
- チューリップの球根屋さん

西日本短期大学緑地環境学科

- 花と緑の学び 体験講座と展示
- 秋のハロウィンアレンジメント(10/26のみ)

ふくおか花と緑の連絡会

- カボチャバーガー
- 秋の実のリース
- 苔盆栽

大濠公園ガーデニングクラブ

- インテリアグリーンの寄せ植え
- お好きなハーブティをどうぞ!
- 球根を植えましょう!

(公財)福岡市緑のまちづくり協会

- 種と苗の物々交換所
- 緑のコーディネーターによる体験講座

まちなか里山事業:植物園里山ボランティア

- 森の色えんぴつ実演販売(10/26のみ)

飲食ブース

キッチンカーもはまりましたが、実行委員会の食物も人気でした!



一般社団法人
福岡市造園建設業協会
ベトナム料理ブース



かぼちゃを
使った
ワークショップ

ワークショップ

各団体でさまざまなワークショップが行われました!

舞鶴公園フラワーボランティアの
押し花で額づくり



緑のコーディネーターによる
こけ玉づくり



ふくおか花と緑の連絡会の
カボチャバーガー



まちなか里山事業:
植物園里山ボランティアの
森の色えんぴつづくり



共育:フラワーアップアップスクールの
ハーバリウム



園芸福祉ふくおかネットの
ハートの編み込みかおり袋



西日本短期大学
緑地環境学科の
フラワーアレンジメント



スポンサー花壇へのご協賛ありがとうございます。

スポンサー花壇とは、市民や観光客をはじめ、多くの人が訪れる都心部に、
うらおいを与え、花と緑でおもてなしをするために、花壇の維持管理を企業に協賛いただく仕組みです。

協賛企業の中には、花壇の管理費用の他に、
ボランティア団体の活動費やイベント開催費などを協賛いただく

「プレミアムスポンサー」や「ゴールドスポンサー」もあります。

詳しくは裏表紙をご参照ください。



協賛期間 2019年4月1日～2020年3月31日



緑のコーディネーターご紹介

市の認定を受け、福岡の緑化推進のための活動を行う「緑のコーディネーター」は、現在252人が登録。それぞれのスキルを活かしての活躍ぶりをご紹介します。

水は、緑の森から生まれます。

緑のコーディネーター5期生

大田 宏志 さん

OTA HIROSHI

緑のコーディネーターとしてはもちろん、福岡市水源林ボランティアの会、秋月里山保全の会、日本山岳会、福岡ふるさと山の会、九州国立博物館館内案内、博多ガイドの会の活動に日々奔走中。モットーは安全に楽しく続けること。でも山と森が大切ですね。



みんなで守り、育てたい水源林。

緑のコーディネーター5期生の大田宏志さんは「福岡市水源林ボランティアの会」の会長として12年以上も活動を続けています。

「落ち葉や木の根によってスポンジのような構造になっている森林の土壌は、雨水をいったん地中に蓄え、浄化しながらゆっくり川へ送ってくれます。この働きによって洪水や渇水が緩和され、きれいな水が育まれます。水は、この森から生まれるんです」と大田さん。

年間の活動日数は実に150日。大田さんご自身も80～90日は山へ入るのだとか。広葉樹の植林、間伐、伐竹、下草刈りなどの水源林の保護・育成のほか、自然環境の大切さを伝える体験イベントや研修にも精力的に取り組んでいます。

作業の後には筍掘り、栗拾い、野菜づくりのほか、みんなでカレーライスを作ったり…お楽しみも忘れません。「頑張ってもらったからには『今日のごろうさま』って大根の一本でも持って帰ってもらわんと(笑)。やっぱりお楽しみがないと続かないし、興味も持てないですからね」



木が、花が、町がつなぐ水の大切さ。

大田さんが緑のコーディネーターの資格を取得したのは「木だけではなく、花のことも学びたい」と考えたからだとか。

「水源林ボランティアで自然観察会の案内をするときにも花の知識は役に立ちますよ。木も花も同じ自然界にあるものだから、どちらか一方だけではなく二つが重なることで、より深く記憶に残るのではないのでしょうか。実は、福岡のまちの観光ガイドもやっているのでも神社やお寺に植えられた木や花のことを尋ねられることも多いんです。緑のコーディネーターとして植物の話をしたり、まちの観光案内をしたりしながら、同時に水の大切さを伝え、水資源を守ることもつながっていくといいなあと思っています」と語る大田さんに今後の目標を尋ねると、笑顔と一緒に、頼もしい言葉が返ってきました。

「現在、120名のボランティア会員を1,000名に増やすことです。福岡市の人口は159万人ですからね、そのくらい、いてもいいでしょう?」



福岡市水源林ボランティアの会

平成20年発足、会員120名。福岡市水道局と協働で福岡市の水甕となる水源林を守るために活躍。曲淵ダム(早良区)・長谷ダム(東区)を拠点とし、また、福岡市の取水量の約1/3は筑後川から受水されています。その恩恵に感謝して、日田の大山や、中津江村の森林保全活動や地域の方々と共に交流活動しています。山遊びを楽しみながら、間伐や除草など保全活動や自然と親しむ市民参加イベント、各施設内外でのPR活動などをおこなっています。ほかのボランティアの会や自治体との交流も積極的に、活動のフィールドを拡大中。



水源林ボランティアの会 HP <https://r.goope.jp/suigenn>



福岡市役所や、福岡市水道局に飾られる門松は、水源林ボランティアの方々が毎年制作されています!



福岡市緑のまちづくり協会では

緑のコーディネーターの養成・紹介・派遣を行っています。

緑のコーディネーターとは市の認定を受け、福岡の緑化推進のための活動を行う人です。現在252名が各自の得意分野を生かし福岡市内で活躍しています。協会が窓口となり、依頼に適したコーディネーターを紹介します。

..... 緑のコーディネーターの活動

みどりの講座講師	自然観察会ガイド	花や緑のアドバイザー
地域の花壇づくり指導	森の保全活動	緑化イベントのサポート

問い合わせ(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 TEL:092-822-5832



320mほどの通りに
花壇がたくさん
点在しています!

終わったら
みんなでお茶!



ここを通るのが楽しみに!

全長320mの街路花壇を四

野多目大池近くに広がる緩やかな丘陵地に並び建つマンション群「レークヒルズ」の住民で構成されるのが「レークヒルズ野多目 花の会」。マンション完成時の平成18年から花壇の世話を続けています。

レークヒルズ野多目 花の会 季折々の花で彩っています。

街路花壇ならではの苦労もありますが...

「レークヒルズ野多目 花の会」の活動は月に2回。この日(2019年12月2日)の作業は、花壇内の枯葉の撤去。熊手や箒を手にしたメンバーが早速、手慣れた様子で作業を進めます。同会が管理する花壇は、緩やかにカーブを描くスロープに面した街路花壇のため、街路樹として植えられたケヤキの落ち葉が大量に積もり、花壇を覆ってしまうのだそう。落葉シーズンの清掃は通常(月2回)の活動では追いつかず、週3~5回は行うというから大変です。

「このケヤキには花壇づくりの当初から泣かされましたよ」と熊手を動かすメンバー。「耕しても耕してもケヤキの根っこが出てきて、ここまでの花壇に整備するのに2~3年はかかりました

かねえ」というから苦労のほどがうかがえます。

また「地域の人々の散歩コースになっているため、犬や猫が入って“お荷物”を残していくのにも弱りました。これはガーデンフェンスを設置することで解決できました」という声や「せっかく丹精込めて咲かせた花を切って持って行ってしまう人もいて…盗難防止用のプレートをつけました」という声も。

年に2回、勉強会を開いては問題点を出し合い、具体策を練るのだとか。「『きれいな花壇を維持して皆さんに喜んでいただきたい』という想いは、ひとつですからね」という会員の皆さんの笑顔が重なります。



取材当時は秋でしたが
春の花壇も華やかで
きれいですよ!

街路花壇ならではの喜びもありますよ!

「多品種の花を植えることで、皆さんに色々な花を楽しんでいただきたい」という想いから、シーズンごとに花の選定を協議しながら苗や球根の買い出しを行うそう。その一方で、約320mに渡る13カ所、トータル217㎡もの広大な花壇を16名の人員でカバーするために宿根草や植えっぱなしでよい球根、乾燥に強い品種を増やして、手間や予算のかからない花壇にする工夫も進めています。

特に持ち場を決めることはしないそうですが、各自、自主的に動く皆さんの手際のよいこと! 同じマンションの住人なのはもちろん、町内会やシニアクラブなどでもしょっちゅう顔を合わせているだけにチームワーク抜群です。唯一の悩みは新しいメンバーがなかなか入ってこな

いことですが「体と相談しながら、できる限りは続けたい」と皆さん。「やっぱりお花が大好きなんですよ、それでね」「おしゃべりもできるし、やっつけて楽しいもね」と和気藹々。

道路の反対側にあるスーパーに行くのにわざわざ対面に渡って花壇を眺めながら歩くという人、作業中にちょうど通りかかって重い荷物を運んでくれた人、水やりを手伝ってくれる子どもたちなど、街路花壇ならではのうれしい出来事も活動の原動力になっているようです。

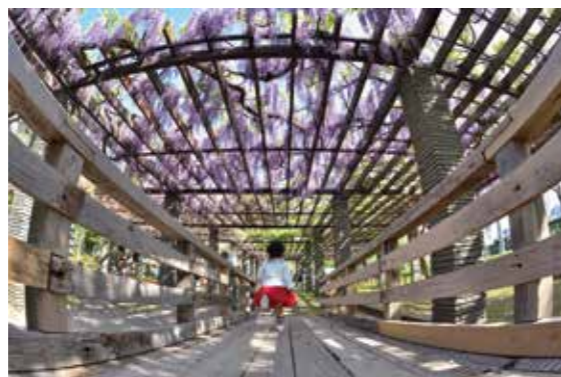
無理なく続けるために作業は1時間以内に終了。枯葉が取り除かれたのと同時に、空を覆っていた灰色の雲も消え去って青空がキラリ。植えたばかりのパンジーの花が日差しを受けてひとときわ輝いて見えました。

花と緑のまちかど写真コンテスト

花や緑に関する写真の募集や展示会を通し、緑の普及啓発を図ることを目的に、福岡市内のまちかどの花や緑をテーマにした写真を対象として行うコンテストを、今年も開催いたしました。令和元年度は183点の応募の中から、以下の受賞作品が決定しました。



「憩いの場所」 山下 利昭さん 博多区 キャナルシティ博多



「藤棚を駆け抜けて」 橋本 禎寛さん 中央区 舞鶴公園



「ボール遊び」 丸山 徳子さん 中央区 天神中央公園



「青い空と花と」 宮原 秀子さん 東区 海の中道海浜公園



「国際観光スポット」 加藤 玄彰さん 中央区 舞鶴公園



「春の夕暮れ」 福原 良一さん 中央区 舞鶴公園



「人生の映り込み」 平井 成貴さん 博多区 清流公園



「背伸びの春」 藤井 利成さん 東区 海の中道海浜公園



「花の散歩道」 船津 龍一郎さん 中央区 天神



「なごみスポット」 若松 安子さん 東区 海の中道海浜公園



「夢多き花のまち」 伊藤 敏さん 中央区 天神



「春の堀端」 鹿島 和生さん 中央区 大手門



「バラ園の中で」 川崎 良介さん 東区 海の中道海浜公園



「癒しの空間」 山口 光晴さん 中央区 大濠公園



「秋日和」 高鷹 春一さん 西区 やよいの風公園



「花に誘われて」 清水 邦夫さん 中央区 舞鶴公園



「冬の街」 中村 克実さん 中央区 舞鶴公園



「都会のオアシス」 成清 平和さん 東区 海の中道海浜公園



「花見日和」 橋野 芳治さん 中央区 舞鶴公園



「つゆの晴れ間」 東 保彦さん 中央区 舞鶴公園



「梅雨の合間に」 百瀬 可達さん 中央区 舞鶴公園

第20回 入賞作品展 開催予定



予定は変更となる場合もあるので、HPをご確認ください。

4/6(月)~4/12(日) アクロス福岡

4/20(月)~4/24(金) 福岡市役所

5/26(火)~6/21(日) 福岡市植物園

くわしくは協会ホームページをご覧ください。 問い合わせ(公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 TEL:092-822-5832



緑のまちづくり協会では福岡市が花と緑あふれるまちとなるように花や緑に関する様々な事業を行っています。

都市緑化などの推進(花と緑によるまちづくりの推進)

緑化活動団体を支援 市民活動団体が自主的に取り組む緑化活動を支援しています。

活動費を助成しています。

地域の森づくり

市内にある樹林地などで樹木の間伐、剪定などによる森の保全、市街地に植樹を行うことによる緑の名所づくりに取り組む団体に助成金を交付。



地域の花づくり

市内にある公園や道沿い、駅前などで花壇づくりを行う団体(花壇などの面積が10㎡以上)に助成金を交付。



緑のコーディネーターの養成・紹介・派遣

紹介・派遣

緑のまちづくり協会は、市から依頼を受け、花壇づくりや樹木ガイド、花やみどりに関する体験講座などの講師として依頼に適したコーディネーターを紹介しています。



養成講座の実施

緑に関する一定の知識・技術がある方を対象に、緑のコーディネーター養成講座全10回を実施しています(講座は隔年開催)。



緑のコーディネーターによる体験講座や自然観察会の開催



バラを楽しむ(市民センター)



自然観察会(舞鶴公園)

緑のコーディネーターとは

市民協働による緑のまちづくりを推進するために、緑のコーディネーター養成講座を修了した方を対象に緑のコーディネーターとして市が認定した方々で、緑化活動のリーダーや体験講座の講師などで活躍しています。詳しくはP11へ

緑に親しむイベントやコンテストなどの開催など

一人一花サミット

毎年10月に都市緑化啓発イベントを開催。緑のまちづくり協会が事務局を務めています。



一人一花スプリングフェス

4月に警固公園で開催される緑化啓発イベントを共催。

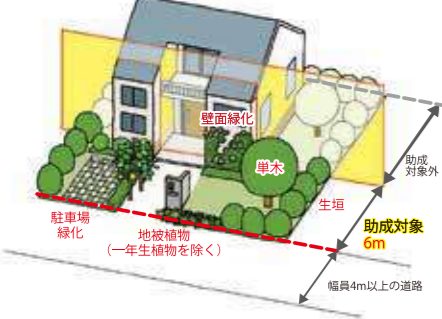


花と緑のまちづくり賞、写真コンテスト

緑化の啓発を目的に、緑のまちづくり協会が実施するコンテスト。



緑化助成 緑あふれる街並みの形成を目的として、道路から見える私有地緑化に助成します。



都市緑化基金の運営

情報誌「まちとみどり」の発行

調査研究

都市緑化に関する調査研究を行っています。



街路樹などの維持管理(良好な都市環境の創造、安心・安全なまちづくりの推進)

街路樹維持管理の設計・監督、市民要望対応、巡回点検、応急作業などにより、街路樹を健全に育成・管理するとともに、道路空間における市民の安全を確保するための業務を行っています。



危険箇所の応急作業



街路樹診断



夜間立会い

東平尾公園の管理・運営(指定管理)



博多の森陸上競技場



競技場の芝生管理(ベスト電器スタジアム)



イベントの開催(じゃぶじゃぶ池オープニングイベント!)



イベントの開催(昆虫ウォッチング)

舞鶴公園の管理・運営(指定管理)



イベント開催(福岡城藤まつり)

舞鶴公園でバーベキュー

今年も舞鶴公園にバーベキュー施設がオープンしています。手ぶらでもOK、食材や飲み物を持ち混んでも大丈夫です。2020年11月末まで。詳しくはHPをご覧ください。

<http://green-majic-maizuru.jp/>



緑のまちづくり協会駐車場・公園などにおける便益施設管理運営

収益事業について

緑のまちづくり協会では、駐車場や、公園便益施設などの管理運営を行い、都市機能の増進および公園利用者の利便を図るとともに、その収益金を都市緑化推進事業の財源として活用しています。



接道部分を花壇にした駐車場



公園自動販売機



福岡市植物園展望台カフェ

福岡市都市緑化基金へのご寄付 ありがとうございます。

- ・福岡市都市緑化推進行事実委員会
 - ・ふくおか花と緑の連絡会
 - ・片江市民緑地グリーンメイトの会
 - ・大濠公園ガーデニングクラブ
 - ・樋井川グリーンメイト
 - ・みどりちかまる
 - ・NPO法人緑のキャラバン隊
 - ・舞鶴公園フラワーボランティア
 - ・共育：フラワーアップスクール
- 平成31年2月1日～令和2年1月31日の間にご寄付いただいた企業・団体・50音順、敬称略

皆さまのご支援は
福岡市の緑化推進に
役立てられています。

【緑化助成事業(民有地緑化の助成)】
【緑の活動支援事業(緑化活動団体の支援)】
【都市緑化の普及啓発】

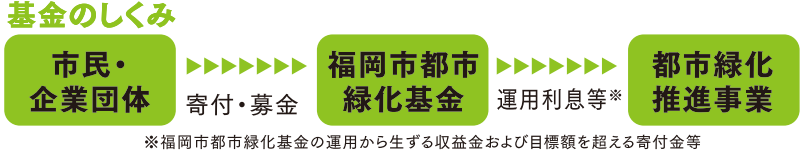
詳しくは緑のまちづくり協会ホームページを
ご覧ください。

ぐるぐる Vol.18
福岡市花と緑のマスコットキャラクターグリッピーのお話
グリッピーも一人一花!の巻



福岡市都市緑化基金のしくみ 寄付金の税額控除が適用されます。

福岡市都市緑化基金は、(公財)福岡市緑のまちづくり協会が運営母体となり、市民のみならず民間企業からいただいた寄付金を積み立て、その運用利息等を利用して、都市の緑化を進めるための基金です。



寄付・募金のお願い

基金の募金箱は福岡市植物園、福岡市情報プラザ(福岡市役所1F)などに設置しています。みなさまのご協力をお願いします。

スポンサー花壇事業のご案内

福岡都市部に「皆さまの花壇」を持ちませんか?

福岡市では、市民や企業・行政が力を合わせ、花と緑を育てることで、まちが彩や潤いにあふれ、誰もが福岡に親しみや愛着を持ち、豊かな心が育まれる一人一花運動の一環として、歩道や中央分離帯などに、花を植え、街を彩るために協賛いただけるスポンサー企業を募集しております。興味のある方はお気軽にお問い合わせください。福岡市一人一花推進課 092-711-4424



寄付金の税控除について

「福岡市都市緑化基金」に対する寄付には、所得税、福岡市の個人住民税で、寄付をした翌年の寄付金税額控除の適用が受けられます。(手続きなど、詳しくは、お気軽にご相談ください)

募金についてのお申し込み・ご相談は (公財)福岡市緑のまちづくり協会 みどり課 企画推進係
TEL:092-822-5832

協会本部事務所

福岡都市高速環状線
福岡タワー 協会オフィス
マリゾン入口
百道浜 小学校前

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 2-3-26
福岡タワーセンタービル2F
TEL 092-822-5832 FAX 092-822-5848

東平尾公園管理事務所

志免町総合スポーツ公園
テニス競技場
管理事務所
ベスト電器スタジアム
博多の森陸上競技場
総合プール

〒812-0852 福岡市博多区東平尾公園2-1-2 (陸上競技場入口)
TEL 092-611-1515 FAX 092-611-8988

舞鶴公園管理事務所

唐人町 大濠公園 赤坂
地下鉄空港線
舞鶴公園 平和台陸上競技場
管理事務所
国体道路

〒810-0043 福岡市中央区城内 1-4 (陸上競技場入口)
TEL 092-781-2153 FAX 092-715-7590